

# 中国学科 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

外国語学部中国学科は、基盤教育による基盤力に加え、中国学に関する専門教育を通して、以下の能力以下の能力を有すると認めた者に学士（中国学）の学位を授与します。

## ■ 豊かな「知識」

専門分野である中国語に関し、その運用に必要な知識、中国語圏の文学・文化・歴史・社会に関する知識を体系的に身につけている。

## ■ 知識を活用できる「技能」

中国語の4技能（読む・聞く・話す・書く）をバランス良く修得し、中国語圏の文化的背景への理解のもとで、中国語を適切に運用できる。

## ■ 次代を切り開く「思考・判断・表現力」

変化が著しい中国語圏をはじめとする諸地域の文化や社会情勢に関する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的に思考することができ、自分の考えや判断を表現することができる。

## ■ 組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」

多様な民族や文化を包摂する中国語圏に関する学修を通して、多様な文化や言語を背景に持つ他者と協働して活動できるコミュニケーション力を有している。

## ■ 社会で生きる「自律的行動力」

中国語の運用能力や中国語圏の文化・社会に関する学修を通して、文化・社会への関心を持ち続け、より良き未来に向けて行動できる。

### ～その基盤力として、基盤教育で次の力を身につけます～

- ・地域・環境・世界(地球)の分野を中心として、社会で生きていくための基盤となる幅広い知識を有している。
- ・英語などの基礎的運用能力、情報リテラシー、資料等を読み解く技能を身につけている。
- ・多様なものの見方、考え方、価値観などを理解し、思考・判断することができる。
- ・個人の異なる生き方や価値観を理解し、社会と調和し、組織や社会の活動を促進することができる。
- ・他者との関わりの中で自己を律し、自己のキャリア形成に向けて継続して学び、公共性、倫理性を持って行動できる。

※ 基盤力の詳細は基盤教育センターのページを参照

# 中国学科 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

外国語学部中国学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を実現するために、以下のとおり教育課程を編成し、実施します。

## 教育課程の編成

### (編成の方針)

- 1 中国学科では、1年次から4年次にかけて、中国語の基礎から応用に至る運用能力及び中国語圏の文化、社会に関する知識を修得するとともに、文化・社会への関心を持ち続け、より良き未来に向けて行動できる姿勢を身につけることを目指して、体系的な教育課程を順次段階を踏む形で編成する。
- 2 教育課程には、中国語圏をはじめとする諸地域の様々な事象を総合的、論理的に思考し、多様な文化や言語を背景に持つ他者と協働して活動できるコミュニケーション力を育成しつつ、自分の考えや判断を表現できるよう、3、4年次に演習科目を配置する。
- 3 以上の専門教育科目のほか、社会で生きていくための基盤力を育成する基盤教育科目をもって、中国学科の教育課程を編成する。

### (教育課程の構成)

※()は卒業に必要な最低単位数で、卒業要件単位数124単位の内訳

中国学科の教育課程は、編成の方針に基づき、専門教育科目(92)、基盤教育科目(32)で構成する。

専門教育科目は、必修科目と選択科目からなり、合計6つの科目群から構成される。必修科目には「基礎教育科目」「専攻外国語科目」「演習科目」の3つの科目群が属し、選択科目には「専門科目」「関連科目」「実践科目」の3つの科目群が属する。各科目群の編成方針は次のとおりとする。

- 1 「基礎教育科目」(10)は、中国語及び中国語圏の文化、社会について専門的に学ぶための基礎となる専門教育の基礎科目群であり、1年次に配置する。
- 2 「専攻外国語科目」(38)は、中国語の「聴く・話す・読む・書く」の4つの技能を習得し中国語運用能力を身につけるための科目群であり、1年次から順次履修できるように科目を配置する。
- 3 「演習科目」(8)は、自らテーマを見つける力や分析能力、及び分析内容や結果を総括しプレゼンテーションする力の習得を目的として、3、4年次に配置する。
- 4 「専門科目」(24)は、中国語に関するものや中国や中国語圏の言語、文化、歴史、社会に関する知識を学修できるような授業科目を配置する。
- 5 「関連科目」(4)は、中国や中国語圏の文化・社会等に対する知識を高めるために、中国及び中国語圏に関わる事項について学際的、複眼的な思考力を養成できるような科目を配置する。
- 6 「実践科目」は、学生の実践力育成、及びキャリア意識の醸成を目的とし、実践的な知識・思考力を修得できるよう科目を配置する。

## 教育の内容・方法

- ・ 授業は、講義、演習のいずれか、又はこれらの併用により行う。
- ・ 学生が主体的に学び、学習意欲・関心を高め、生涯にわたって学び続ける力を養うため、学生参加型授業、グループディスカッション、プレゼンテーションなど能動的学習(アクティブ・ラーニング)の手法を授業形態に応じて効果的に取り入れる。
- ・ 語学クラスにおいては中国語運用能力を効果的に高めるためにクラス制に基づく学生参加型の実践的授業を行う。
- ・ 予習・復習等、授業時間外の学修について、学修行動調査などによる調査・把握を行いながら、シラバスへの記載や授業での喚起等により、適切な学修時間の確保を促す。
- ・ 単位の実質化を図るため、履修登録単位数の上限を各学期 26 単位とする。

## 学修成果の評価

- ・ 授業科目の成績評価は、試験、受講態度、並びにレポートや課題、ディスカッション、プレゼンテーションへの取組状況や成果などによって厳格に判定する。成績が一定の水準に達したと認められた場合に、所定の単位を認定する。
- ・ 3年次に進級するためには、2年次終了までにおいて、所定の科目を含めた 48 単位、卒業の要件は、所定の科目を含めた 124 単位以上の修得を必要とする。
- ・ 各授業科目の成績を基礎とした総合的な学業成績として、累積 GPA を算出し、成績優秀者表彰や早期卒業、留学対象者の選定などに用い、学修意欲の向上を図る。
- ・ 学生への授業評価・学修行動調査等を実施し、個別科目での学生の理解度や各講義・授業への要望をはじめ、学修達成状況などを把握し、その結果を授業や教育課程の改善に役立てる。

## 中国学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

外国語学部中国学科は、次のような人を求めます。

### （求める学生像）

- 英語以外の新しい言語を学ぶ意欲を持ち、その修得に挑戦しようとする人
- 多様な文化をもつ中国・アジア社会に関心を持ち、グローバル社会の多様性や複雑性をより深く理解したい人
- 修得した中国語や身につけた知識を活かして、アジア圏を中心に国際社会で活躍したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
<b>求める能力</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学後の修学に必要な幅広い基礎的な知識・技能を備えている。</li> <li>・英語に関して、基礎的な読解力、表現力を備えている。</li> <li>・外国語を修得する素養を備えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで、その内容について、論理的に、思考・判断し、自分の考えを分かりやすく表現する力を備えている。</li> <li>・問いや質問の内容を理解・判断し、自分の考えを分かりやすく明確に表現する力を備えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に他者とコミュニケーションを取り、他者の考えを理解しようとする姿勢を持っている。</li> <li>・ともに学び合うことで自分自身を向上させようとする姿勢を持っている。</li> </ul>
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別学力検査	外国語：英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）	○	○
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別学力検査	小論文	○	
帰国子女学生特別選抜	個別学力検査等	日本語小論文	○	
	面接		○	○
	TOEFL 又は TOEIC	○		
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○		
	個別学力検査等	面接 (TOEFL 又は TOEIC)	○	○
編入学	個別学力検査等	中国語 (リスニングを含む)	○	
	面接 (入学希望理由書)		○	○